

愛 称 決 定

えしここに
FURESATO CENTER NAME

そのおもいをこの「米子弁」にのせて



ご近所さんのご家庭のことが心配…

どこに相談したらいいかわからない福祉の困りごとは、「えしここに」へご相談ください。

い
い
ぐ
あ
い
に
・
・
・

この愛称の作者の想い

センターの親切な対応をイメージして、地元の皆さんに馴染みのある「米子弁」からピットリ」のコバがひらめきました。

「えしここに」物ごとが進みますように、という想いです。

お知らせ

次回から本誌をリニューアルします

〈旧〉 ふれあいの里相談支援センター ニュース

〈新〉 えしここにニュース

つながりレー♪【第2回】

(ご家族による自画像です)



社会福祉法人 もみの木福祉会 グループホーム管理者

安達 美奈子(あだち みなこ)さん

支援していると思うことは何でしょうか？

例えば、不適切な支援をしている支援者も、入社時はきっと「この仕事をしたい」と希望も持っていたのではと思うと、職場環境などの背景もあるのではと思います。

どれだけ人権意識をもって対応できるか。そういう自分もどうか振り返ることがありますね。

ご自分の行動も振り返られると

そうですね。自分が利用者さんに育ててもらっていると日々感じています。

安達さんの主なお仕事を教えてください！

「共同生活援助」といって、障がいのある方の生活の場を支援しています。責任者を担っていますが、要は何でも屋です。

また鳥取県社会福祉士会に在籍し、障がい者虐待関連研修などにも力をいれています。

その他に人材養成の力になればと、YMCA米子医療福祉専門学校の授業も受け持っています

「うえるかむ」での成年後見人も担っておられますね

計7名の成年後見をお引き受けしています。身寄りのない人やコミュニケーションが難しい人の担当もしています。その人の人生をサポートできるようにと思っています。

読者の皆様へ一言お願いします！

グループホームのご相談お待ちしております。



センター職員の紹介

「えしこに」の大きな機能のひとつである地域包括支援センターの統括役の船木係長にインタビューしました。

「えしこに」します



ふれあいの里地域包括支援センター

船木 敏江

ふなき としえ

趣味や休日の過ごし方

趣味は野球観戦とプリザーブドフラワー作りです。

ずっとこどもの所属野球チームのお世話や応援をしてきました。

プロ野球も好きで、コロナ禍前までは毎年広島球場でビールと観戦を楽しんでいました♪

今はお教室には行っていないですが、自宅にプリザーブドフラワーの作品を飾っています。癒されます☺。



お仕事への想い

「えしこに」の仕事は、自分たちが人とつながり、人をつなげる仕事だと感じています。そのためには、つながる相手を知ることが必要です。

まずは職員同士が互いを知り、高め合う関係性を作り、チームとしてつながっていることを大事にしています。

ゆえに、地域の方々と直接つながるのはひとりの職員だとしても、皆がセンターの代表として対応できるのです。

職員がいきいきと仕事をしている姿を地域の皆様に届けることで、いろいろな活動に声をかけていただける存在になりたいと考えています。

～福祉のよろず相談所～

えしこに (ふれあいの里総合相談支援センター)

米子市福祉保健部福祉政策課 <本紙の発行元>

[住所] 〒683-0811

鳥取県米子市錦町1-139-3 (ふれあいの里1階)

[メール] furesato@city.yonago.lg.jp

電話 0859-21-8428

えしこに案内図



バスでお越しの場合

[米子駅より]

●だんだんバス (ループバス) 乗車
ふれあいの里 (敷地内) で下車

●一般路線バス (イオン線・産業体育館線 など) 乗車
公会堂前で下車後、徒歩5分

J Rでお越しの場合

J R米子駅からJ R境港線に乗り、
富士見町駅で下車後、徒歩5分